



七尾城 (国指定史跡・日本100名城)



本丸からの七尾湾・能登半島眺望

所在地：石川県七尾市古屋敷町、古府町、古府町竹町
古屋敷町入会、古城町、矢田町

別称：松尾城

立地：丘陵頂部、標高310m

城主：能登畠山氏、上杉謙信、前田利家

時期：室町、戦国

見学時間(参考)：本丸駐車場利用 50分

旧大手道往復 2時間30分

七尾城は能登国守護畠山氏の居城として知られ、昭和9年(1934)国史跡に指定される。日本を代表する山城として、五大山城に数えられている。

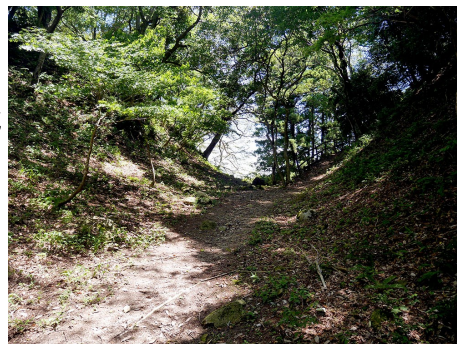


本丸駐車場
(城山駐車場)

応永15年(1408)、能登・越中・河内・紀伊4国の守護であった畠山満慶が、能登以外を兄の満家に譲り能登畠山氏が誕生する。その最盛期は7代義総で、「畠山文化」と呼ばれる京風の文芸活動が広がりを見せ、大永5年(1525)七尾城内の義総亭で賦何人連歌が詠まれ、翌6年に城内で催された歌会には冷泉為広・為和父子が出席している。

天正5年(1577)9月、畠山7人衆の遊佐統光の内応により、上杉謙信が七尾城を陥落し能登畠山氏は滅亡する。城代として鯨坂長実が置かれた。天正7年8月長実は追放され、旧畠山家臣団5人の合議制を始めるが、翌年織田方に降伏する。

天正9年(1581)3月、織田信長は菅屋長頼を城代として派遣する。長頼は七尾城に残っていた旧畠山家臣団(遊佐氏、温



二の丸と三の丸を遮断する大堀切



旧大手道(門の高)

井氏、三宅氏)を完全に排除し、織田氏による支配が始まる。同年10月には能登一国を領した前田利家が入城することになる。



九尺石



いしかわ城郭カードに関する最新情報・お問い合わせ
北陸城郭プロジェクト(フリー・スタイル株式会社)
〒929-0335 石川県河北郡津幡町井上の荘3-9
TEL. 076-204-6046 FAX. 076-289-3943
E-MAIL. contact@j-sampo.com
ホームページ城郭さんぽ <https://www.j-sampo.com/>